

# 読んでみよう 解いてみよう せん太のワークシート

2022年度から民法上の成人年齢が18歳に引き下げられることを踏まえ、大学生が消費者トラブルを防ぐための動画を作りました。記事を読んで質問に答えましょう。

## 岡山理科大と川崎医療福祉大 消費者トラブル防止

### 岡山理科大生の動画

ウカヤマン

このメッセージ欄に  
・本名・住所  
・クレジットカード番号  
・電話番号・生年月日  
・メールアドレス  
を記入してください。

クレジットカードも？  
細かく聞いてくるなあ

名前 ももた  
住所 岡山県岡山市○区××××  
クレジットカード番号  
○○○○○○○○○○○○○○○○  
etc.

偽アカウントのSNSに個人情報を盗まれる事例を通じて注意を促している

### 川崎医療福祉大生の動画

一口も飲んでいないから交換できるでしょ！

「契約」が成立しているから交換はできないよ

(ももた)でも まだ一口も飲んでいないから交換できるでしょ！(いやまる)交換はできないよ。ももたくんが注文をして お店の人がわかりましたと返事をしたときに「契約」が成立しているからね！

タピオカ購入を事例に「契約」について解説している

# 学生が啓発動画

来春の民法改正による成人年齢引き下げで若者の消費者トラブル増加が懸念される中、岡山理科大（岡山市北区理大町）と川崎医療福祉大（倉敷市松島）の学生が県消費生活センターと連携し、それぞれ啓発動画を制作した。会員制交流サイト（SNS）などがトラブルに遭いやすいテーマで注意点を解説。いずれも投稿サイト・YouTubeで近く公開する。（信定佑紀）

### 来春成人年齢引き下げ

県消費生活センターによると、インターネットでの買い物が増える中で若者の消費者トラブルの相談は増加傾向。成人年齢引き下げを前に、身近なトラブルについて「若者目線」で注意喚起してもらおうと、同センターが両大学に動画作成を依頼した。

岡山理科大では、教育学部の札埜和男准教授のゼミで学ぶ6人が取り組んだ。ゲーム機を格安で販売するという偽アカウントのSNSの企画に応募した学生がクレジットカード番号などの情報を盗まれ、身に覚えのない買い物の代金を請求される内容。消費生活センターに相談するとともに、事前に企画の内容をよく確認し、個人情報を簡単に教えないよう呼び掛け

## 県生活センターと連携 ユーチューブで公開へ

4年奥村浩暉さん(21)は「若者が被害に遭いやすい題材を選んだ。言葉も分かりやすく伝わるよう努めた」と話す。

川崎医療福祉大では、医療福祉マネジメント学部の田村久美准教授のゼミ生12人が「契約編」と「インターネットショッピング編」の2本を作成。契約編ではタピオカドリンクの購入後の交換を例に契約の仕組みなどを解説、インターネットショッピング編では利用上の注意点やクーリングオフを説明している。

「新型コロナウイルス禍でネットでの買い物が増えているので、注意喚起したかった」と4年西村知紗さん(21)。クイズを取り入れるなど楽しく学べるよう工夫を凝らしたという。

動画は県の「晴れの国おかやまチャンネル」で今月中に公開予定。同センターは「若い人に消費者トラブルを身近な問題として捉えてもらうきっかけにしたい」としている。

8日付、山陽新聞全県版

個人情報情報を簡単に教えちゃだめ！



Q1 ★★☆☆

岡山理科大と川崎医療福祉大の学生が消費者トラブルを防ぐための動画を作ったのはなぜですか。リード（第1段落）と第2段落を参考に答えましょう。

Q2 ★★☆☆

動画では、個人情報をどのような方法で盗まれるトラブルが取り上げられていますか。第3段落に注目してまとめましょう。

Q3 ★★★★★

インターネットで買い物をする際の注意点について、周りの人と話し合みましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。